

特色ある学校づくりに係る資料（平成30年度）

学番	中等 1	学校名	県立村上中等教育学校	校長氏名	岩田 宏樹
----	------	-----	------------	------	-------

I 校長として目指している学校像

- 1 確かな学力を身に付け、豊かな人間性を育み、国際的な視野を持って社会に貢献できる骨太の生徒を育成する。
- 2 「Let's try! 挑戦・創造・貢献」を校是とし、学習や行事、部活動等に自ら進んで取り組む気概のある生徒を育成する。
- 3 節度ある行動ができるとともに、他者に対する思いやりの心を持った生徒を育成する。

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- 1 生徒には、いつも明るく丁寧に、かつ毅然とした接し方をすることができる。
- 2 生徒の発達段階を考えながら、生徒を理解し親身な指導をすることができる。
- 3 教材研究を欠かさず、絶えず工夫し、アイデアを取り入れることができる。
- 4 自分の役割に責任を持つとともに、組織力の向上に貢献することができる。
- 5 尊大を敵とし、謙譲を友としながら、前向きに職務に精励することができる。

III オンリーワンスクールの取り組み

- 1 6年間を見通した、計画的・継続的な指導を行う。
前期課程から進路について意識させ、目標設定ができるよう指導方法を検討し、後期課程での進路希望実現につなげる。
- 2 教育的効果を一層向上させる。
 - (1) 指導案を作成の上、研究授業を公開し、事後検討を行う。
 - (2) 家庭学習を含めた学習状況、生活面における変化等、生徒の実態を把握するとともに、年間の教育活動の在り方を見直す。
 - (3) HR、学年行事、各科の事業等の内容を再検討する。
- 3 地域の自然や人材を活用する。
 - (1) 総合的な学習の時間を検証し、教育活動がより効果的に行えるように見直す。
 - (2) キャリア教育や道徳教育に活用できるよう研究する。

IV 確かな学力・豊かな人間性

- 1 親身かつ丁寧に指導しながら、確かな学力を身に付ける。
 - (1) 前期課程：朝読書、2時間以上の家庭学習、学習合宿
 - (2) 後期課程：朝テスト、4時間以上の家庭学習、学習合宿、大学講座
 - (3) 少人数学習、漢字検定・数学検定・英語検定への取組等
- 2 気力・体力を培いながら、豊かな人間性を育む。
 - (1) 全学年：六煌祭(体育大会)、チャレンジウオーク、六碧祭(文化祭)、ボランティア活動
 - (2) 学年別：宿泊研修、町巡り、修学旅行、福祉施設体験、人形さま巡り、職場体験、スキー研修、オーストラリア語学研修、登山、進路講演会